

今年こそ達成できるか、 アンダー100

問

交通安全対策について、本市の取組状況を伺う。

- ①交通安全対策の啓発状況と交通事故抑制アンダー100の取組と見通しは。
- ②高齢者の交通事故対策と高齢者交通アドバイザーの活動と成果は。
- ③交通安全協会各支部の資材収納状況は。

答

中村市長

①伊予警察署、交通安全協会、交通指導員と連携を図りながら、毎月20日の交通安全の日、春秋の全国交通安全運動、夕暮れ時のライト点灯、前照灯の切り替えキャンペーン、年末の交通安全県民運動等、市

谷本 勝俊 議員



内各所で街頭啓発活動を実施している。そのほか市関連行事での交通整理、双海・中山地区の防災行政無線による放送、広報「いよし」で啓発を行っている。

目指せアンダー100「えひめの輪」作戦で街頭指導を実施している。昨年はアンダー100の達成はならなかったが、今年達成できるものと期待している。

答

総務部長

②5月12日より始めた高齢者交通安全アドバイザー事業は、市内に住む70歳から89歳の高齢者、約7350名のお宅をアドバイザー2名が、2年間をかけて広報区単位で訪問し、アンケート調査、交通安全に関する資料の配布、反射材の配布、交通等危険箇所の聞き取り調査を行うものである。

市民の反応としては、アドバイザーの訪問を歓迎してくれる方が多いようで、10月1日現在、12広報区、1314世帯、1717名を訪問しており、訪問地区に限っては、交通事故による犠牲者は出ていない。

③伊予地区に4支部、中山地

区に1支部、双海地区に2支部あり、収納状況は3支部が伊予市の土地等に独自の倉庫を置き、3支部が市の施設を利用し、1支部が個人の倉庫に収納している状況である。

伊予警察署によると、各支部の対応については、それぞれに任せてあるとのことであるが、本市としても他の支部の状況を考慮し、公共施設に保管できないか調査検討していきたい。

公共の砂場の安全と管理は 万全か

問

砂場は子供たちの情操教育にとつて欠かすことのできない施設であり、子供たちを安心して遊ばせる公共の砂場の安心安全の現状と対応は。

- ①保育園の現状は。
- ②学校・幼稚園の現状は。
- ③公園の現状は。

答

中村市長

①犬や猫の進入防止用の網やシートを設置している保育所は、10園のうち5園、抗菌砂

認識している。しかしながら、犬猫の糞尿の除去や消毒には苦労していると報告を受けている。その対策として、大きな砂場はネットで囲い、小さな砂場はネットをかけている。また幼稚園の砂場は、毎朝点検掃除し、天気の良い日は砂を掘り起こし、消毒液の散布など実施している。

今後とも一層徹底するよう指導することにより、安全確保に努めたい。

答

上田教育長

②市が管理している公園の砂場は、しおさい公園ほか6カ所で、犬猫等について対策・点検は行っていない。健康被害の報告は受けていないが、対策を講じる必要がある。

③市が管理している公園の砂場は、しおさい公園ほか6カ所で、犬猫等について対策・点検は行っていない。健康被害の報告は受けていないが、対策を講じる必要がある。

砂場は想像力の育成、運動能力、バランス感覚等の発達に寄与しており、清潔に保ち安心して遊べる環境を提供することは極めて重要なことと



ネットで囲ったぐんちゅう保育所の砂場